

牛久：学校周辺に見る自然

第49号 ひたち野うしく小

2011年11月3日発行

＜ 校庭に見つけた、小さな秋 ＞

開校2年目、ひたち野うしく小の校庭に、小さな秋を見つけました。10/26、給食前のひとときで、かくにん昨年確認できなかったどんぐりを、いくつか見つけました。そして、秋のチョウや紅葉も…。こうよう



↑ 今年はたくさんの実をつけた、コナラ。下にもたくさん落ちていました。



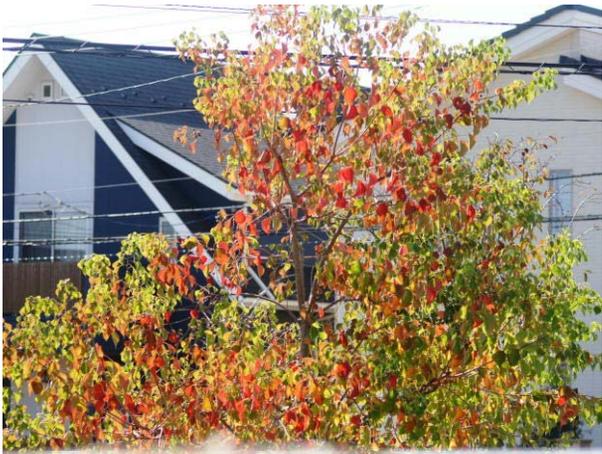
↑ 大きいので、どんぐりの王様、と私はかつてに思っているクヌギ。
虫食いが多いけど、人にははやく渋くて、そのままでは食べられない。



↑ 紅葉といえば、こちらにあざやかな紅色できれいなブルーベリー(左)とソメイヨシノ(さくら：右)。



↑ 紅葉しているが、今年は茶色を帯びてしまっているイロハモミジ(左)。まだ緑葉で、果実をつけているものも(右)。



↑ フェンスの外では、ナンキンハゼの紅葉が進んでいます。まだ緑の実や、熟して白い種子が顔を出した実も…。



↑ 秋に多く見かける、ウラギンシジミ(めす：左)。他のクモを捕まえているのではなく、脱皮したてのジョロウグモ(右)。

皆さんも、遊び^{つかれ}疲れたら、そっとまわりの景色^{けしき}に目を向けてみませんか？

小さな秋、そしてまもなく、冬の兆^{きざし}しも感じられることでしょう。



↑ リンゴの木にとまるアキアカネ。

【理科支援員 宮内】



↑ 校門のサルビアとマリーゴールド。